

第9期四国中央市自立支援協議会 第5回会議 議事録

開催日時	令和7年5月29日（木）19：00～20：25
開催場所	四国中央市市民交流棟2階会議室
参加者 （敬称略）	大西 史郎、星川 隆志、藤原 夕紀、脇 研二、高橋 惇、野本 知津子、 合田 真由美、青木 悠、井原 佳代、大西 慶治、横井 百合、山内 紀 子、安部 良次、藤原 卓也、上原 ひとみ、山口 佐人 以上委員16名（委員17名のうち） 合田 晃友（福祉部長）オブザーバー
傍聴人	2名
事務局	越智 寛 生活福祉課：田邊 真二、飛鷹 彩奈、城戸 八重子

協議内容

1. 開会

（事務局）

ただ今から、第9期四国中央市自立支援協議会第5回会議を開催いたします。本日の開催時間は、19時から20時30分までを予定しております。

本日の委員の出席状況を確認します。委員総数17名のうち、現時点で出席委員14名。委員の過半数の出席を得ておりますので、四国中央市自立支援協議会条例第6条第2項の規定により会議の開催要件を満たしておりますことをご報告いたします。なお、会議は「審議会等の運営に関する指針」により、原則公開となっております。議事録作成のために録音させていただきますので、ご了承のほどよろしく願いいたします。

また、会議の公開は、審議会等の傍聴及び会議録の公開等の方法によることとなり、傍聴者の受付を行ったところ、現在2名となっておりますことを併せてご報告いたします。

それでは、開会にあたり、大西会長がご挨拶申し上げます。

（大西会長）

第9期の四国中央市自立支援協議会第5回の会議にご出席いただきましてありがとうございます。

ちょうど季節の変わり目ということで、気温の変化が著しく、体調の変化に皆さん気をつけられていると思うのですが、特に要支援者の皆さんと関わりを持たれている方々、その要支援者の体調管理に十分気をつけていただいていることを感謝申し上げます。

今週、気になる新聞記事がありまして、皆さんも読まれていると思うのですが、日本年金機構が障害年金の不支給事案のうち、一部の判定をひそかにやり直していたというものです。この障害年金については、障害がある方にとっては将来、本当に必要な収入源であり、また、就労しづらい方にとっても本当大事な収入源だろうと思います。

日本年金機構には障害年金の公平な判定をお願いしなければならない。日頃皆さんも、

協 議 内 容

相談の中で障害年金の不支給に関するものがありましたら、こういった報道もされているということをお知らせいただければと思います。

それでは、本日の協議事項にこれから入らせていただきたいと思います。

出席委員自己紹介並びに事務局自己紹介

(事務局)

改めまして、今年度もよろしくお願いいたします。

それでは配布資料の確認について、ご協力をお願いいたします。

続きまして議事に入っていきたいと思います。

自立支援協議会条例第6条により本会議の議長は会長が務めることとなっておりますので、議事進行を会長にお願いいたします。

2. 議事

【報告事項】

①第9期自立支援協議会 連絡会・各専門部会活動計画

(議長)

それでは、次第の議事に基づいて進行させていただきます。

本日は協議事項はございません。従いまして報告事項から入りたいと思います。

まず、報告事項①第9期自立支援協議会 連絡会・各専門部会活動計画を連絡会会長及び各専門部会部会長から説明をお願いします。

まず最初に、資源開発部会からお願いします。

○資源開発部会 (部会長：藤原) 資料P12

部会の開催については、例年通り月1回程度実施していく予定です。第9期になってからは第11回、今年度に入りまして2回目の部会を5月19日に開催しました。

活動内容につきまして、障がい児者等のニーズの的確な把握、新たなサービスの提案ということ、役割として担いながら行っていきたくと思っています。

まず1点目に、既存の障がい福祉サービスの実情把握ということで、障がい児者等のニーズとサービスのマッチング状況の検証、必要なサービス(資源)の開発、改善に対する検証を目的に、支援者アンケートと当事者アンケートの実施を計画しております。うち支援者アンケートに関しては、後程報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

当事者アンケートに関しましては、今後実施・報告し、課題の抽出を行いつつ、11月の自立支援協議会での報告に向けて進めております。

次に2点目として、前年度からの引き続きの検討事項として、①ポータルサイトしこちゅ〜福祉ナビのページ内容に対する意見、②緊急時の対応への取り組み、③部会活動

協 議 内 容

から得た地域課題についての抽出や提言、④既存の支援機関、ボランティアセンター、ファミリーサポートセンター、シルバー人材センター等との協力体制の構築、⑤次期の部会へのあり方メンバー構成について今年度の活動計画として行っていきます。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、権利擁護部会お願いします。

○権利擁護部会（部会長：脇）資料P13

活動計画といたしましては資料に記載した内容に目を通していただくとして、中でも特に重点的に力を入れていきたいところが、(2)の市民後見人養成研修修了者の活躍支援、これを重点的に進めていけたらと思っております。

自立支援協議会権利擁護部会の活動として、第8期権利擁護部会で市民後見人の養成を進めてはどうかといった提言をさせていただいております。

今年に入り、当時中核機関でした四国中央市で市民後見人の養成研修がスタートしております。令和7年度からは四国中央市が担ってきた中核機関としての機能が社協の方に移り、今後、市民後見人の養成研修も社協の方が進めていくわけですが、その研修を修了した方がどういった活動をしていくか。修了した方によって、市民後見人、いわゆる裁判所から選任された後見人として活動していく方もいればそうではない方もいる。ただ、そういう研修を受ける方というのは、非常に意識の高い方ですので、市民後見人として就任する以外の方の活動をする受け皿を、事前に準備しておく必要があるということで、権利擁護部会の方で検討して、提言していけたらと思っております。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、サポート部会お願いします。

○サポート部会（部会長：高橋）資料P14

部会開催については、毎月1回の定例開催を基本とします。

2. 今期の活動内容ということで、(1)障がい者等に寄り添う支援体制の強化という役割を持ち、(2)①障がい児・者、こども、高齢者、生活困窮者及び医療・教育機関等の分野別支援者の連携強化を目標に、今年度の支援者研修会の開催を予定しています。

今年度のテーマは、「重層的支援体制整備事業」についてということで、とりのこさない支援の実現を目指してということ、そちらの重層的支援体制整備事業の周知だったり内容理解の促進をねらった、研修会の方をしたいと思っております。

その下のひきこもり支援の関わり方について実践事例を外部講師の方に依頼して、お話をさせていただこうかなと思っております。開催日時が11月の中旬から12月前半で、講師の方と今調整中です。会場は福祉会館4階を予定しております。例年通り講演会、話題提供が終わった後、参加者の皆さんで、人の繋がりや支援者と繋がりを深めるために

協 議 内 容

グループワーク・座談会というような機会を設けたいと思っています

②は共生社会の実現に向けた障がいへの理解促進及び支援体制づくりということで、前期部会、前々期部会で作成したヘルプマークチラシの更新と活用として、ヘルプマークチラシを更新したものを、今年配布しようという話になっています。2つ目はこれまでの支援者研修会で寄せられた意見を分析、そこから本市の福祉課題・ニーズ抽出（防災対策等を含む）を考えています。3つ目は、昨年デマンドタクシーを体験利用して、そこから得られた本市の移動支援のあり方について、障がい福祉目線からどういったものがあるのかを考えながら検証していきたいと思っています。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、こども部会お願いします。

○こども部会（部会長：野本）資料P15

こども部会の令和7年度活動計画です。

部会開催は原則月1回を予定しております。今年度1回目は5月13日に実施しました。次回6月10日に研修会の打ち合わせを予定しております。

活動内容としましては、医療的ケア児を含む障がい児に関する支援体制向上と、関係機関の連携強化を役割として目標を今期は3つ挙げています。

①障がい児支援従事者の育成。障がい児支援には、保護者や支援者などが正しい知識や経験を身につける必要があります。今年度は、知識の伝達だけではなく、経験に基づいた研修になるよう、対象者や実施方法を検討し、研修会を実施していきます。

②支援関係機関の連携体制構築。一貫した支援を行うためには、こどもに関わる関係機関の情報共有や連携体制の構築が必要です。自立支援協議会の他の部会や、こどもに関わる連絡会などとの体制構築に努めていきます。

③保護者、支援者等が取得しやすい情報発信の検討。正しい情報を必要な人へ伝えることは重要です。「しこちゅ〜福祉ナビ」を活用し、情報発信ができるように検討していきます。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、相談支援専門員連絡会お願いします。

○相談支援専門員連絡会（連絡会長：合田）資料P16

連絡会の開催については、月に1回程度の開催予定です。4月18日、5月26日に開催し、今月は25日に開催予定となっております。

活動内容について、今年度は6つの項目を挙げさせてもらっています。

①相談支援専門員の活動内容や連絡会の役割についての確認と協議。連絡会の中で、

協 議 内 容

各専門部会の活動内容の報告や共有と、それぞれの個別ケースの共有、報告を共有しながら引き続き協議してまいります。

②自立支援協議会・常任委員会への発信。相談支援専門員の役割を表に示しており、左側の大きなグループのような役割を持っております。

相談支援専門員は子ども・大人・年齢・障がいのあるなし・障がい種別などに関係なく、支援が必要な人及びその家族すべての方を対象として相談を受けております。当事者家族が何を望み何に困っているのか整理して、解決方法や様々な手立てを提案し、当事者やその家族に寄り添い、同意のもと医療、行政、教育などにつなげ、連携していきます。また、福祉サービス利用を希望する場合は、計画を作成して事業所につなぐなど、様々な手立てを提案していくのですが、既存の資源ではどうしても解決できないケースが出てまいります。そういった地域課題の発見や必要な社会資源の提案をしていくことが、相談支援専門員連絡会の目的と役割としていきます。

当事者やその家族が安心して生活するために、何が足りなくて何か必要なかを共有・協議・検討して、常任委員会や自立支援協議会に発信して行きたいと考えており、個別ケースについて共有していく中で、今出てきている課題を整理しているところです。

③他分野関係機関との連携。就労、子ども、医療、介護などがあります。

④就職準備フェアへの協力。今年度は令和7年11月20日木曜日に開催される予定、場所は市民文化ホールになります。

⑤福祉なんでも相談会の実施。今年度は令和8年1月17日土曜日に開催予定で、場所は同じく市民文化ホールです。実施に向けて、今から準備していきます。

⑥災害などの緊急時・非常時における支援体制についての協議。先日、今治で発生した山林火災を受けて、緊急時、非常時の支援体制について考えていかなければいけない、既存の防災体制はどんなものがあるのか、福祉避難所のことなど、私たちが把握できないことがあるということを感じかされているところで、自分が知るだけでなく、共有することが大事だとも思っております。

また、今日、皆様のお手元に配付させていただいております、四国中央市障がい福祉事業者マップですが、これは昨年度の連絡会の周知啓発活動の成果の一部になります。また、皆様、活用していただけたらありがたいと思っております。

【質疑応答・意見交換】

(議長)

ありがとうございました。これまでの報告を受けて委員の皆様方から、ご質問はございますか。

無いようですので、以上で連絡会、各専門部会の活動計画を終わります。

②資源開発部会 支援者向けアンケート調査報告

(議長)

続きまして、報告事項②資源開発部会 支援者向けアンケート調査報告について資源

協 議 内 容

開発部会より説明をお願いします。

(資源開発部会 部会長：藤原) 当日配付資料

資源開発部会にて実施させていただいた支援者向けアンケートについての調査報告をさせていただきたいと思います。

資料本日、机上配付させていただいたものになりますので、ご確認ください。

本調査は、支援者の目線から障害福祉サービスの実情を把握するとともに、サービス等の提供、障がい者支援を行っていく上で必要となるものを検証・分析することで、市内の福祉サービスの充実、発展に繋げていくことを目的として実施しております。

対象は、四国中央市内の障害福祉サービス事業所等に勤務をする全従事者で、市内の福祉サービス事業所 83 事業所すべてに依頼をさせていただいております。

調査方法に関してはWebアンケート・無記名のもので行っています。

期間としては令和6年10月30日から令和6年11月30日の1ヶ月間で行い、207名の方から回答をいただきました。

この207名の市内の従事者の方々の回答を、アンケートの結果という形でまとめています。(支援者向けアンケート調査報告書参照)

【調査報告書要旨】

- ・アンケート結果から、福祉サービスの認知度、支援者の課題、サービス提供の現状、そして改善のための提案等を報告。
- ・アンケート結果を基に、課題を4つの視点で整理し、それぞれの課題に対する具体的な取り組み案を提案。
- ・今回のアンケート結果を次期の自立支援協議会の運営方針に盛り込めるよう、常任委員会等々で検討する材料にしたい。

【質疑応答・意見交換】

(議長)

ありがとうございました。

多岐に渡ってのいろいろ課題が浮き彫りになってきていると思います。その中でもこれから、これらの課題をどう取り組むか、これは、また、自立支援協議会の取り組むべき課題でもあると思います。

この内容について皆さんのご意見、お聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。

(藤原委員)

総評にある人材の育成と確保に関して、当法人では市内の専門学校や大学との連携を試みているものの、実際には雇用に繋がるケースが少ない。これに加えてそれ以外の対応方法があるのであれば、それも盛り込んでほしいというところと、仕事が忙しく業務に圧迫されている状況に対しては、県やICT関連の補助金を活用して業務軽減を図って

協 議 内 容

いるところがあるので、それに関して、四国中央市でも市としても取り組めるような何かを出していただくとか、福祉事業所などへの補助いう意味では必要な部分ではないかとこれを見て考える部分がありました。

(議長)

ありがとうございました。

このアンケート結果については、本当に大きな課題もあると思います。今日の自立支援協議会の中でこの課題を協議するのは難しいと考えますので、各部会においてはこのアンケート結果をもとにそれぞれ検討いただき、どのように反映できるかというのを、今年度、十分検討確認をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

③2025年度四国中央市就職準備フェア

(議長)

続きまして、報告事項③2025年度就職準備フェアについて説明をお願いします。

(藤原委員) 資料P17

2025年度も四国中央市就職準備フェアの方を開催させていただくということは、前回お話をさせていただきましたが、日時について再度お知らせします。11月20日木曜日に、しこちゅ〜ホールで開催したいと考えております。

参加者は、障がいのある方で就労を希望する方等約100名で、当事者及び家族が50名、支援者が30名、企業が10社、スタッフが10名を予定しています。

内容に関しては、(1)から(5)の部分については大体ここ4～5年同じような形で行っているのですが、これに加えて(6)その他検討中ではありますが、新しいものといたしまして、A型事業所でやっているような作業を体験できるコーナーであるとか、スーツを試着できるコーナーというのを設けたりだとか、実際に体験できる履歴書作成コーナーとか、前年度とまた違った新しいことをして、新しい参加者の方が来ていただけるような内容にしたいと考えています。

予算についてですが、収入に関しては自立支援協議会から5万円、ジョブあしすとUMAから5万円の合わせて10万円としておりますが、予算自体はちょっと厳しいものになっております。

【質疑応答・意見交換】

(議長)

ありがとうございました。先ほどの説明を受けて、委員の皆様方からご質問はございますか。

無いようですので、以上で2025年度就職準備フェアの報告を終わります。

(議長)

協 議 内 容

以上で議事を終了します。

本日の議事は全て終了致しましたので、進行を事務局にお返し致します。

3. その他

(事務局)

大西会長ありがとうございました。

続きまして、その他に移ります。委員の皆様方、何かご報告がございましたらお願いします。

(合田委員)

「処遇改善費適用に向けた署名活動のご案内」について案内。

(大西会長)

令和8年度に開所する障がい児入所施設の入所基準についてまだ検討中とは思いますが、いつ頃を目途に設けられるのか、何月ごろ、どのように基準を設けられるのかかわかるところで教えてもらえますか。

(福祉部長)

まだ私どもも確認できてないので、発達支援課の方に確認して、いつぐらいになるかという目途ははっきりわかった時点でお知らせするような形でよろしいでしょうか。

(大西会長)

はい。お願いします。

(井原委員)

支援者向けアンケート調査結果の感想と提言。

(事務局)

私からも一点、今年度の日程についてお知らせさせていただきます。

しこちゅ〜が表紙の資料の20ページ、ご確認ください。第6回会議につきましては、令和7年7月31日(木)19時から、福社会館4階多目的ホールでの開催となりますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、本日の第5回会議を終了いたします。

4. 閉会